

実践報告 在宅療養の現場から

帯広協会病院がん相談支援センター（地域医療福祉連携室）
認定医療ソーシャルワーカー 田巻憲史

社会福祉士/精神保健福祉士/在宅医療インテグレーター

1

帯広協会病院 概要

- 診療科 総合診療科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、精神科、腫瘍内科、麻酔科、病理診断科
- 許可病床 300床（うち地域包括ケア病棟48床）
- 地域センター病院
- 地域周産期母子医療センター
- 在宅療養後方支援病院
- 北海道がん診療連携指定病院



2

帯広市・十勝の概要



出典：十勝総合振興局

- 十勝は、北海道の南東部に位置する広域行政区の総称
- 帯広市を中心として、東西南北それぞれ約100kmあり、二次医療圏と三次医療圏が同一の地域
- 総面積10,831.62 km²、北海道の約13%の面積を占めており、都道府県別面積では、日本で7番目の大きさを誇る「岐阜県」と、ほぼ同じ大きさに相当し、1番小さな「香川県」や「大阪府」と比較すると約6倍の広さ

3

院内の取り組み（がんサポートチーム）

- 令和2年4月～緩和ケアチームを『がんサポートチーム』と改称
- メンバー：医師（腫瘍内科、精神科）、緩和ケア認定看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、事務職員、医療ソーシャルワーカー
- 週2回、がんサポートチームで、がんの診断を受けている人で「気がかりな人」の情報共有（入院支援部門、糖尿病看護認定看護師も合流）
- 精神科医師が休職中のため、診療報酬算定はしていない

4

在宅医療の提供の状況

- 当院からの訪問診療
- 2021年度（4月～3月） のべ324件（月平均27件）
2022年度（12月まで） のべ477件（月平均53件）
- 9割以上が腫瘍内科、残りは外科
- 訪問範囲は十勝全域

5

在宅でのお看取りの状況

- 2021年度（4月～3月） 20件
- 2022年度（12月まで） 35件

6

がんサポート外来

- 令和2年4月～ 腫瘍内科の中に、がんサポート外来を開設
- がんと診断されても、自分らしく生きるサポートをする
- 当院で治療を受けていない方も、がんサポート外来を受診することができるし、ご家族だけの受診も可能
- 化学療法・手術などがん治療に伴う副作用への対策や心のケア
- 仕事との両立
- 脱毛などの外見の変化への対応
- その他、がんに伴う様々な困りごと

7

他機関、多職種からの相談

- 地域の様々な機関から、緩和ケア、訪問診療の相談状況
※2022年分
- 介護支援専門員 5件
- 訪問看護ステーション 2件
- 保険薬局薬剤師 1件
- 他院の地域医療連携室やMSW 2件
- 本人 1件
- 家族 1件

8

他圏域からの受入相談

- 札幌圏域、胆振圏域の病院の地域医療連携室や医療ソーシャルワーカーからの転院相談
- 終末期の人は、残念ながら、タイミングが遅く、戻って来られないこともある

9

もっと良い地域になるために

- 地域の情報共有システムの統一化（ICTの活用）
- 在宅療養を支える専門職（訪問看護師、訪問薬剤師）の不足
- 経済的困窮（生活保護、無料低額診療利用）世帯の在宅療養
- 地域の専門職からの相談を受けるための窓口
- ケアマネジャー、ホームヘルパーなどへの緩和ケアの浸透
- 入所施設（特養・サービス付き高齢者住宅など）での緩和ケア、終末期医療提供体制の整備

10